

## 2013年土壌肥料若手の会 in 愛知のご案内

若手の会 in 愛知では、世界の食料や日本の農業について学び、「土壌」という共通の対象を見つめていく中で、土壌研究の位置づけについて考えます。また、やきものの街「常滑」を訪れ、土壌に触れ、遊び、学ぶことで、土壌のもつ様々な魅力や可能性を発見していただければと思います。そしてより視野を広げるために、研究テーマの異なる仲間の研究紹介などの交流の場を提供したいと考えていますので、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

開催日程は土壌肥料学会名古屋大会終了後、下記の要領で開催いたします。

1) 日程：2013年9月14日（土）～16日（月）（2泊3日）

集合：9月14日（土）午前8:45 地下鉄名城線 名古屋大学駅2番出入口前

2) スケジュール

○ 9月14日（土）

午前 セミナー① 生源寺眞一先生 名古屋大学生命農学研究科 食糧生産管理学

「世界の食料・日本の農業」

生源寺先生は世界の食料問題や日本の農業・農村問題について研究されています。これらについて、マクロからミクロまでの視点でとらえ、農業の動向について学んだあと、求められている土壌研究について考えます。

午後 ミツカン博物館「酢の里」（半田市）

「酢の里」は粕酢誕生の地である半田に開かれた、日本唯一のお酢の総合博物館です。昔を偲ばせるたたずまいの中で、倉人たちが作りあげてきたお酢づくりの精神と技術、そして健康的な暮らしに役立つお酢に関する情報を様々な形で紹介していただきます。

INAX ライブミュージアム（常滑市）

INAX ライブミュージアムは「土・どろんこ館」「窯のある広場・資料館」「世界のタイル博物館」「陶楽工房」「ものづくり工房」「建築陶器のはじまり館」の館で構成されています。この6つの館を散策しながら、土とやきものが織りなす多様な世界を見学していただきます。

夕方 懇親会

○ 9月15日（日）

午前 犬山城・城下町（犬山市）

犬山城は日本最古の天守閣で名高い国宝指定四城の一つです。木曾川の南岸にそりたち、天守閣からの眺めはまさに絶景です。犬山城下町は総構えと呼ばれる、城と城下町の外周を堀で囲い込んだ城郭構造をそのまま残した、歩いて楽しい町で

す。五平餅などの串物や、守口漬風味のソフトクリームなどの珍しいものまで食べ歩きが楽しめます。

午後 セミナー② 野中慎吾氏 夢農人 みどりの里（豊田市）

「農家が目指している農業」

野中さんは肥料を使わない有機栽培に力を入れており、「奇跡のりんご」の木村さんの農法を活かして「奇跡のいちご」を作って注目を浴びています。そんな野中さんの農業へのこだわりや、研究者に求めること等について講演していただく予定です。

夕方 名古屋大学稲武演習林宿舎にて BBQ、どんぐりの湯（稲武町）

○ 9月16日（月）

午前 集合写真、解散

※9:30 に名古屋大学稲武演習林宿舎を出発後、金山駅、名古屋駅、名古屋大学までバスでお送りする予定です。それぞれの到着予定時刻は 11:00、11:30、12:00 です。中部国際空港をご利用の方は名鉄金山駅 11:35 発の中部国際空港行きの特急（一部特別車）にお乗りいただくと、中部国際空港に 12:06 に到着する予定です。希望降車地をお知らせください。

3) 参加費：学生・ポスドク ¥16,000, 一般 ¥20,000

4) 募集人数：35名程度

5) 申し込み方法：参加希望者は2013年7月31日（水）までに氏名および連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）を下記までメールにてお知らせください。

詳細は、土壌肥料若手の会 in 愛知のホームページ (<http://jssspnyoung2013.web.fc2.com/>) をご覧ください。定員になり次第募集を締め切らせていただきます。

申込および問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院生命農学研究科

土壌圏物質循環学研究分野 中原誌公

E-mail : nakahara.shikou@b.mbox.nagoya-u.ac.jp

Tel : 052-789-5740

その他ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。